

あさくち

議会だより

NO. 59

令和5年 2023

11月1日発行



あさくち議会

検索

CONTENTS

P2/9月定例会

P4/委員会レポート

P7/市政を問う!一般質問



9月定例会

会期 | 9月5日~21日

令和5年度 補正予算

1億2,523万円

の増額補正予算を可決

一般会計の総額は**151億9,682万円** (対前年同期比1.5%減)

定例会

委員会レポート

市政を問う！
一般質問

議会が注目する事業



市役所本庁舎、天草公園武道館をLED照明に改修

公共施設の老朽化対策及び脱炭素化を推進するため、市役所本庁舎と天草公園武道館にLED照明を導入する。

4,579万円



市役所本庁舎



天草公園武道館

私立保育所へ就職する保育士等に補助金で支援

保育に携わる人材の確保を図り、待機(保留)児童の解消及び職場環境の改善による保育の質の向上を目的として、市内私立保育所等に就職する保育士等を支援する。



180万円

各議員の判断はいかに!?

議案審議



参加議員

妹尾 斎藤 竹本 早苗 冲原 山下 石井 藤井 伊澤 佐藤 加藤 桑野 藤澤 香取 井上
 義信 貴士 寛 ネネ 有美 周吾 由紀子 立子 誠(議長) 正人 淳二 和夫 健 良勝 邦男

※議長は採決に加わりません。

今回の議案は出席議員が **すべて賛成** でした。

条例	水道事業運営審議会条例の制定
	印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正
	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
補正予算	令和5年度一般会計補正予算(第3号)
	令和5年度介護保険特別会計補正予算(第2号)
	令和5年度水道事業会計補正予算(第1号)
	令和5年度下水道事業会計補正予算(第1号)
諮問	人権擁護委員の推薦意見
陳情	教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択についての陳情

水道事業運営審議会条例の制定について

この条例は、市の水道事業の運営及び経営に関すること、水道料金等の使用料に関すること、その他管理者が特に必要と認めた事項に関して調査、審議することを目的に制定するもの。

議会はここを聞きました

Q 今までなかった審議会をこの期に設置する意図は。

A 水道事業の経営は、必要な費用は水道料金によって賄われている。全国的に水道事業は、人口減少等による料金収入の減少、水道施設の老朽化や耐震化に伴う更新費用の増大など、さまざまな要因で厳しい経営状況が続いている。こうした厳しい状況の中で新市になって約17年の間、一度も水道料金を値上げすることなく事業運営を行ってきた。しかしながら、将来的に持続可能な事業運営を行うためには、現在の水道料金の水準を見直す必要があると認識している。このたび、水道料金の適正な見直しに向けて有識者等で構成する審議会を設置し、詳細な検討に着手する。

Q 現在の金光町の水は倉敷市から購入しているが、事務局としてそれを解消することも含めて審議する予定か。

A 施設の老朽化による修繕、更新に備えて、昨年度から本格的に金光地区を含む市全域の将来の最適な水運用についての検討を重ねてきた。検討結果をもって関係団体と今後協議を進めていく。





寄島地区義務教育学校地域説明会



定例会

委員会レポート

市政を問う！
一般質問

義務教育学校開設準備委員会を設置 学校名をアンケートで調査

寄島地区の義務教育学校の準備状況について①

・ハード面 義務教育学校の改修工事に伴う実施設計業務とアスベスト含有調査・分析業務の委託業者が決定した。

・ソフト面 義務教育学校開設準備委員会を設置し、学校名、校章、校歌、学校経営方針、カリキュラムの編成、学校組織、学校行事、備品に関することなどについて、調査、検討を始めている。専門的な事項については部会も設置している。

・アンケート 学校名決定の参考とするため、8月上旬から地域住民に用紙の配布を行う。

・地域住民への周知 義務教育学校の開設に向けた準備状況をお知らせする「おたより」を随時配布していく。また、7月22日には、説明会を開催した。

・視察 学校の教職員、学校運営協議会委員、行政担当者で3か所の先進校視察を行った。

Q 令和7年度の開設まであと1年半しかないが、カリキュラムなどに間に合うのか。

A 現在、カリキュラムなど教育内容については準備を進めており、令和5年度中で固める。6年度に試行しながら微調整し、7年度にスタートできるように取組んでいる。

Q 説明会では、小学校45分、中学校50分と時程が違うので、チャイムを無くす話があった。視察先の学校でも無くしていたのか。チャイムがあった方が、児童生徒が分かりやすいのでは。

A 学校によって違いはあるが、チャイムを無くしている学校もあった。時程も含めて現在検討している。
(8月1日開催)

寄島地区の義務教育学校の準備状況について②

・アンケート結果 学校名の募集を行い、寄島地区の住民から計280

の回答をいただいた。最も多かったのが「寄島学園」続いて「寄島もやい学園」そして「寄島未来学園」「寄島しおかぜ学園」などの回答があった。

・学校名の検討 アンケート結果の回答をもとに、「最も回答数が多い「寄島学園」がよいのではないか」、「寄島小中学校で大切に育てている「もやいの心」の「もやい」という言葉を入れた「寄島もやい学園」にすることで、寄島らしさがあるのでではないか」などの意見があった。教育委員会議を経て及び結果の報告をもとに審議し、「寄島学園」と「寄島もやい学園」の2つに絞って、開設準備委員会で広く寄島地区の住民の方々の意見を集約していくこととなった。

・地区住民への周知 地域住民への周知について、8月上旬に義務教育学校開設に向けた準備状況をお知らせするため、「開設準備委員会だより第1号」を寄島地区住民へ配布し、市ホームページにも掲載している。

(9月14日開催)

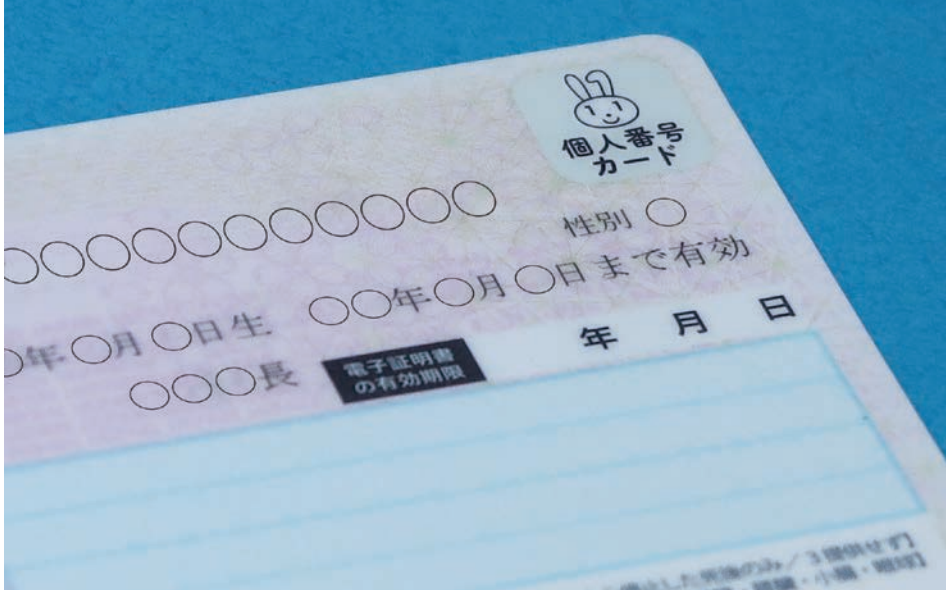
総務文教

委員長	藤井 立子
副委員長	妹尾 義信
委員	沖原 有美
	石井由紀子
	伊澤 誠
	加藤 淳二

マイナンバーカードの交付状況 誤登録や自主返納の状況は

民生

委員長 佐藤 正人
副委員長 桑野 和夫
委員 山下 周吾
大西 恒夫
井上 邦男



複数の自治体において、マイナンバーに他人の情報が紐付けられるといった事態が発生している。市におけるマイナンバーカードの交付状況などについて説明を受けた。

市のマイナンバーカード保有率は、令和5年6月末日現在で74.2%となっており、全国平均や岡山県平均を上回る普及状況である。マイナンバーカードの自主返納の状況については、令和5年7月末日現在で5件確認されている。市では、窓口でマイナンバーカードを交付する際に口座登録の支援を実施している。その際に専用端末機の操作説明をしており、紐付け誤りなどが発生しないよう徹底しているとの報告を受けた。

Q マイナンバーの紐付けに関する確認調査が行われているが状況は。
A 7月末締切りで確認調査があった。現在、国が集計を行っている。

Q 自主返納の理由は。

A 「カードが信用できない」、「処理に不安がある」という理由で返納されている。
(8月2日開催)

コンビニ等で印鑑登録証明書の発行が可能に

電子署名等に係る地方公共団体システム機構の認証業務に関する法律の一部改正により、マイナンバーカードの電子証明書の機能をスマホに登録することが可能になる。これによりコンビニ等のマルチコピー機で印鑑登録証明書の取得が可能となるよう関係条例を改正する。

「新型コロナウイルスワクチン令和5年秋開始接種」の状況

「令和5年秋開始接種」は9月20日から開始予定。春と同様に個別接種で、予約方法は

- ①市コールセンターでの電話予約
- ②県共通予約システムによるインター

ネット予約
③医療機関への直接申込み
となっている。対象者は生後6か月以上で、接種券は9月20日以降に届くよう準備をしている。

健康福祉センターの浴場の今後

浴場については、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、令和2年2月から約3年半休止している。これまでも速やかに再開できるように、定期的な点検等を行ってきた。しかし、老朽化、燃料費の高騰や、里庄町にゴミ焼却場の余熱を利用した入浴施設が建設されることが決定し、そこに移行することは避けては通れないと考えている。

Q 今の浴場は廃止するのか、それともシャワールーム程度のものにして残すのか。
A 現在、有効活用について検討している。

(9月15日開催)



定例会

委員会レポート

市政を問う！
一般質問

ラジコン式草刈機を導入 簡単操作で作業負担を軽減

市は、少子高齢化等の社会情勢の変化を踏まえ、各種施設の「管理のあり方」について検討することとなった。特に、夏場の草刈り作業は重労働であり、また、傾斜地では転倒のリスクもあるため、作業者の負担軽減や安全確保が求められている。

このようなことから、①小型・軽量で、軽トラックに載せて運ぶことが可能なもの、②作業員の安全確保のための遠隔操作が可能なもの、③水路の法面等、斜面の利用にも対応したものを予算の範囲内で選定した結果、ラジコン式の草刈機1台(約118万円)を導入している。

Q 今後、増台の予定は。

A この草刈機の導入効果や機能要件など、使用の目的をさまざまに視点から検証した上で、必要に応じて増台を検討していく。

Q 広い土地では力不足ではないか。

A 草の状況、土地の状況、使用場所はさまざまである。今回は小型・軽量で、軽トラックでも運搬が可能な草刈機を選定した。大規模な土地では力不足であることは承知している。
(8月3日開催・現地視察)

水道事業運営審議会を設置 水道料金の見直しに着手

市の水道施設は、整備開始から約50年が経過し、老朽化が進んでおり、多くの施設の更新や自然災害に備えた耐震化が必要となってくる。この施設の更新や耐震化には、今後多額の費用を要することが見込まれ、将来的に持続可能な事業運営を行うためには現在の水道料金の水準を見直す必要がある。

このたび、水道料金の適正な見直しに向けて、有識者等で構成する水道事業運営審議会を設置する。料金改定の実施時期や改定率も含め、詳

細な検討に着手していく。

Q 金光地区は倉敷市から水を購入しており、その料金が値上がりしたが、そのことも考慮して検討するのか。

A まずは、現状の中で検討を行っていくが、将来を考えた上での料金改定が必要であると考えている。

Q 料金を検討するよりも、水道料金未納者からしっかりと徴収してほしい。

A 令和4年度末の未収金は約2900万円。いろいろな事情があり、未納となっている方もいる。書類を送ってすぐに給水停止をするようなことではなく、話し合いを行う中で支払いをしてもらうよう努力している。
(9月19日開催)

産業建設

委員長	香取 良勝
副委員長	藤澤 健
委員	齋藤 貴士
	竹本 寛
	早苗 ネネ



市政を問う！

一般質問

録画放送
配信中

9月定例会では、12人の議員が市の考えを聞きました。

質問者	質問項目
香取 良勝	○新庁舎の建設について
斎藤 貴士	○防災士の育成について ○緊急メール(行方不明者の捜索)について
竹本 寛	○浅口市の防災について尋ねる ○浅口市のDX施策について尋ねる
佐藤 正人	○浅口市公式LINEの更なる充実について ○浅口市の「こどもまんなか」宣言をしてはどうか
桑野 和夫	○浅口市の職員について ○寄島に計画されている義務教育学校について
加藤 淳二	○健康福祉センターの有効活用について ○熱中症対策と暑熱避難施設の整備について
山下 周吾	○浅口市の人口について ○ふれあい号について ○ふるさと納税について
沖原 有美	○マイナンバーカードについて ○妊婦健診時の交通費補助について
妹尾 義信	○物流における2024年問題について ○市民の健康づくりに関して ○生成AIの利用について
藤井 立子	○生成人工知能(AI)の活用について
石井由紀子	○地域公共交通のさらなる利便性について ○スマホ依存について
早苗 ネネ	○食の安全について



香取 良勝



新庁舎の建設について

問 合併特例債がいくら残っているのか。なぜ市庁舎を新築しないのか。私は以前、市長、前副市長と一緒に食事をする時に新庁舎を建てる約束をしていた。しかし、耐震工事をしたから新庁舎はやめたと言われた。このことを議会で質問したら、市長は言った覚えがないと言われる。

金光支所はトイレが和式で、扇風機も使っている。市庁舎は50年以上経過しており、耐震工事をして、コンクリートが地震には耐えられない。市民、市職員がいるのに、地震が起きたら倒壊するのは目に見えている。市民、市職員はどうなってもよいのか。

企財 合併特例債の利用可能残額は88億2520万円。今のところ、庁舎を新築する予定はない。

金支所 金光支所では、クーラーが6月23日から故障しており、故障の期間中は市民の方にご不便をおかけし、申し訳なく思っている。

問 市民の税金を有効に使うのが議員と市長、弱い市民を助けるのも議員や市長ではないのか。

岡山市、備前市、津山市、真庭市などは合併特例債を利用して、新庁舎の建設を行っている。私自身、岡山にマンションを3軒持っている。その中の1つは築40年が経過しており、震度4の地震で、ひび割れ、水道や屋根などの修理が大変だった。直ちに庁舎新築を行い、合併特例債を利用すれば、国が7割負担してくれる。なぜ行わないのか。

市長 庁舎については、必要な整備を行ってきており、今後とも適切な維持管理に努め、大切に庁舎を使っていきたい。



斎藤 貴士



防災士の育成について

問 浅口市において把握している防災士の数は。

企財 8月末現在で、116人。
問 年齢・性別問わず受講できるが、資格取得への補助はあるか。

企財 自主防災組織へ、必要な防災資機材の整備等に要する費用に対し補助金を交付しており、防災士の資格取得も対象としている。

問 地域防災という面で、消防団員に、防災士の資格取得へ向けた助成金はできないか。

市長 消防団員の防災士資格取得に對しての補助は必要と考えており前向きに検討したい。

緊急メール(行方不明者の検索)について

問 検索メールの配信の規定は、
健福 認知症等で自宅に帰るこ

とができなくなった、おおむね65歳以上の高齢者で、家族等の申し出により配信を行っている。

問 あさくちメール・防災アプリ・LINE配信は、対象が高齢者の場合のみか。

健福 認知症以外のご自身で判断できる方については、諸事情により行方不明になっており、市での対応は難しいと考えられ、警察の対応になると思っている。

問 里庄町・笠岡市・倉敷市と隣接しているが、情報の共有はできているか。

健福 家族等の希望により、近隣自治体等へ搜索依頼をしている。県外の場合でも、浅口市が岡山県へ、岡山県が各都道府県へ、各都道府県が各市町村へ連絡・連携する体制が整備されている。

市長 早期に発見し、家族の元へ戻ることができるよう、体制を整備している。高齢者を地域で見守り、安心して暮らせる地域づくりを推進してまいりたい。



竹本 寛



浅口市の防災について

問 指定避難場所開設時の空調は。

企財 33か所の指定避難場所の内、26か所でエアコン等の空調設備がある。その他の場所も岡山県等と相互応援協定を結んでおり、応援要請をして設置する。

問 災害発生時、高台へ避難するために土砂災害警戒区域にある道を通るしかない地域もある。避難路の整備計画は。

企財 現在、整備計画は無い。
産建 安全確保のために必要とされる道路整備等の意見は、地域の土木委員に相談し、市へ要望していただきたい。

問 寄島町内には、倒壊の恐れがある空き家に隣接した避難路がある。また、消防団が廃部となり、災害時等の防災面から、緊急車両が通行できるようにと、道路整備の要望を出している地区もある。安心・安全の面からも必要と思うが、対策はできないか。

市長 地域の実情に即した防災の観点から道路等の整備を進めていく。要望をいただいている道路は他地区の要望と含めて取りまとめをしており、今後、事業の検討を行う。

問 線状降水帯の影響で雨の降り方が変わってきている。寄島干拓地の排水ポンプについて、県に設備の更新や増設を要望しては。

市長 設備更新、機能強化が急務であり、今後も地域重点課題として強く要望していく。

浅口市のDX(デジタルトランスフォーメーション)施策について

問 行政内部のDXや住民に直接裨益するDXがあるが、講述してきた対策は。

企財 令和4年度から業務を洗い出し、DX推進委員会で評価・検討を行っている。また、申請や届出等をオンライン化し、利便性の向上を図っている。
問 市としてメインと考えている施策は。

市長 市役所内部の電子化や業務改革等を行い、どこからでも行政手続が行える市役所を目指している。



佐藤 正人



浅口市公式LINEの更なる充実について

問 令和5年4月から「防災行政ナビ」を導入しているが、内容の充実度は。

企財 災害時やその前に発信される気象情報・避難情報などの防災情報を通知するほか、指定避難場所の位置をオンライン地図で確認できる。また、国や県の防災情報や、市の子育てイベントなどの行政に関する各種情報も通知している。

問 岡山市などが取り入れている道路・公園の損傷などをすぐ通報できるメニューを取り入れては。併せて防犯灯の球切れもどうか。

企財 将来的に市民が気軽に安心安全のまちづくりに参加できる仕組みとして、機能の導入を検討していきたい。

浅口市の「こどもまんなか」宣言をしてはどうか

問 全国的に宣言をする自治体が増えている。内容の認識と市の必要性は。

健福 令和5年4月に創設されたこども家庭庁が提唱している制度。こどもまんなか社会の実現に共感・賛同し、その取組を応援し、自らもアクションに取組む個人や地方自治体、団体企業のことを「こどもまんなか応援サポーター」と位置づけている。市としても必要と認識している。

問 市役所窓口にもこどもファスト・トラックを設置しては。

健福 公共施設や商業施設などの受付において、妊婦や子ども連れの方を優先する取組であり、市としても健康福祉センター窓口から始めていきたいと考えている。

問 市でもこどもまんなかのまちづくりの視点から「こどもまんなか」宣言をしてはどうか。

市長 子どもが主人公という考えのもと、さまざまな事業に取り組んできた。市においてもこどもまんなかの趣旨に賛同し、宣言については現在準備を進めている。



桑野 和夫



浅口市の職員について

問 市の正規職員と会計年度任用職員数は。

企財 今年8月1日現在、正規職員が281人で会計年度任用職員が312人。

問 正規より非正規が多く、それは県下トップレベル。会計年度任用職員は一般職員と比べて賃金が安く、いつまで雇用されるのかという不安がある。改善してはどうか。

企財 処遇の向上に努めたい。

問 正規職員の比率を増やす方向はあるのか。

市長 市の持続的な運営と安定的な市民サービス提供のため、必要に応じて職員数の見直しを行う。

寄島での義務教育学校について

問 令和7年度から寄島に計画されている施設一体型の義務教育学校の経緯は。

教育次

市では、以前から小中連携教育に取組んでおり、その後、小中一貫教育基本計画を策定し、小中一貫教育を推進してきた。そうした中、寄島では義務教育学校についての研究が始まり、PTAでの会議や保護者アンケートなどを実施してきた。その後「寄島地区の教育を考える会」から市長と教育長に要望書が出され、総合教育会議等で検討を重ねてきた。

問 アンケート結果は、説明が十分行き渡ってないことを示しており、突っ走った感じがあるが。

教育長 義務教育学校は新しい学校種なので、まだまだ説明していく必要がある。

問 どういう整備をして整備費はどれくらいになるのか。

教育次 教室や職員室の改修、図書室を多目的ホールへ移設、備品の購入や駐車場の整備等で3億円から3億5千万円を見込んでいます。

問 大事なことは市民にどこまで理解を得ていくか。まずは海の活用やさらなる公共交通の充実などですっかり地域をつくっていくことだと思いが。

市長 魅力ある学校となるように、市としても取組んでいきたい。



加藤 淳二



健康福祉センターの有効活用について

問 健康福祉センターの浴場がコロナ禍により休止となっているが、現在の状況は。

健康 令和2年から約3年半利用を中止している。再開には浴場のトイレやタイルの修繕など、最低限の修理で300万円程度の経費が必要となる。

問 西部衛生施設組合がゴミ焼却場の熱利用施設として浴場を整備すると聞いているが、詳細は。

生環 笠岡、井原、里庄、矢掛、浅口の連帯交流拠点として、浴場、温水プール等を備える施設で、令和9年1月のオープン予定となっている。

問 完成するのは約3年後。その間、修繕費の他に維持費や燃料費がかかることを踏まえると、健康福祉センターの浴場は再開する必要があるのか。市の考

えは。

市長 浴場については、新たに稼働予定の入浴施設に移行することは避けて通れないものと考えている。健康福祉センター全体の有効利用について、今後検討していく。

熱中症対策と暑熱避難施設の整備について

問 令和4年度から市はクーリングシェルターとして公共施設を開放しているが、利用状況は。

教育次 天草公園体育館のひんやりルームでは令和5年度、149人が利用した。

問 市民が猛暑日に長時間避難できる専用の暑熱避難施設を整備してはどうか。

市長 市民の健康と命を守るために熱中症対策は緊急の課題であると認識している。健康福祉センター全体の有効活用として、子どもから高齢者まで市民の皆様が安心安全に1年間を通じて利用できる施設として整備し、夏季には暑さを避ける場所としても利用できるように早急に検討していく。



山下 周吾



浅口市の人口について

問 市の人口と世帯数について過去3年分の動きは。

生環 令和5年7月末日現在の人口は3万3055人、世帯数は1万4426世帯。この3年間で人口は979人の減少、世帯数は135世帯の増加。

問 さまざまな計画書の戦略人口または将来人口や世帯数の予測が若干違ってきているのでは。

企財 各計画の目的や分析に適合した将来人口を設定しているため、数値が異なる場合がある。将来人口の推移の違いが問題ではなく、各計画に定められた目標の達成が重要であると考えている。

市長 人口減少、少子高齢化が全国的に急速に進んでいる。転入超過が実数で岡山県内第1位となり、市政運営が評価されたものと喜びを感じている。

ふれあい号について

問 基幹路線を設定し、EVバスを導入して運行を行うことで、市のイメージアップにつなげては。

企財 基幹路線の設定は、複数の交通拠点となる乗り継ぎポイントを設け、そこを起点に市の中心部まで乗客を送ることと理解している。目的地まで短時間で行けるメリットもある。しかし、基幹路線に複数の車両が必要となる可能性や、乗り継ぎの待ち時間増加など、利便性向上に直結しない場合もある。これらを勘案し、現在の運行を中心に公共交通を維持していく。EVバスは、市のイメージアップという考えも理解できる。ただ、現在の車両と比較して大型になり、導入すると細かく回るルートを維持できなくなる。

市長 これまでの運行を基本としながら、利便性のみならず、EVバスの低炭素のまちづくりに寄与する取組は研究をしたい。ふれあい号は病院の午前中の診察時間に間に合うという大前提の下に運行している。これが、皆さんの一番多かった要望である。



沖原 有美



マイナンバーカードについて

問 令和5年7月末で自主返納が5件あったが、その後の状況とその理由は。

生環 令和5年9月5日現在、5件で7月末日と変わりない。理由は「カードが信用できない」、「処理に不安を感じる」といった声を聞いている。

問 共同通信が全国の市区町村長に実施したアンケート調査で、現行の健康保険証を来年秋に廃止する政府方針に対し、市の回答は。また事務負担については、どのような判断で「普通」と回答したのか。

生環 さまざまな事務負担や医療機関での混乱を踏まえ、保険証廃止を延期すべきと回答した。また事務負担は増えているが、市はトラブルや特別な事務が発生していないため、普通と回答した。

問 来年秋に実施予定のマイナ

ンバーカードと保険証を一本化することについて、延期または中止を求めているかどうか。

生環 市民へ不安の解消や安心感につながる啓発を行い、国の方針に基づき事務を進めたいと考えている。

妊婦健診時の交通費補助について

問 笠岡市にある井笠地域唯一の産婦人科が12月末で閉院することによる市の見解は。

健福 妊婦が身近な地域で出産できない不安や遠方への通院に伴う負担等、懸念がある。また産婦人科は、女性特有の疾患の治療にも欠かせない存在で、必要な医療サービスを受ける機会を失うことは、深刻な影響を及ぼすおそれがあるのではないかと考える。

問 他の自治体では近隣に産婦人科がない場合、健診時の交通費等を助成している。市でも妊婦健診受診のための交通費を補助してはどうか。

市長 安心して出産ができるように、井笠圏域の自治体とも連携し、どのような支援ができるか検討したい。



妹尾 義信



物流における2024年問題について

問 この問題について事業者と協議の場を設ける考えは。

産建 市単独で解決できる課題ではないので、現時点では考えていない。

問 宅配ボックス等に補助が出せないか。

産建 宅配ボックスの設置だけで、この問題が解決できるものではない。国の検討内容を注視している。

市民の健康づくりに関して

問 あさくち健康ポイントとはどのようなものか。

健福 20歳以上の市民を対象に、定期健診・日々の運動・食事などの健康づくりの目標を達成した人へ、商工会商品券を交付するもの。

問 アプリを導入するなど、より多くの市民が利用しやすい

制度にならないか。

健福 当面は現在の方法で事業を行い、より多くの市民に参加していただけるよう周知していく。

生成AIの利用について

問 生成AIの利用についてルール作りをするか。

企財 5月には国が取扱いの通知を、8月には県が利用のガイドラインを作成している。現在、市においてもガイドラインの作成を検討している。

問 活用に関しての研究の場を設けることはあるか。

企財 必要に応じて実施する。

問 利用にはデメリットもあるが、広く市民に周知する考えは。

企財 生成AIに限らず、発信ツールとしてのアプリに関しては、十分にデメリットを理解した上で利用する必要がある。市民が利用することにより不利益を被ることが確認された場合には、積極的に注意喚起をする。

問 浅口市の未来像は。

市長 AI技術は予想がつかない部分もあるが、行政運営を行っていく手段として引き続き調査研究を行っていく。



藤井 立子



生成人工知能(AI)の活用について

問 生成AIはどんなものか。

企財 AIがデータの内容やパターンなどを学習し、文書、画像、音楽などを作り出す技術。利用者が指定した情報や条件を基に、あたかも人間が作ったかのような文書や作品を作成する。

問 対話型AI(チャットGPTなど)の問題点は何か。

企財 AIがインターネットなどから大量のデータを学習するが、誤った情報や解釈で学習する場合がある。そのため、内容が常に正しいとは限らない。情報漏えいの危険もある。

問 対話型AIはスマートフォンやパソコンから無料で利用できる。学校で支給しているタブレット端末でも使えるのか。

教育次 アクセスできないよう対応を取っている。

問 学校でのデメリット対策は。

教育次 作品やレポートなどで、生成AIが作った物をそのまま応募、提出することや問題の解答を安易に生成AIに答えさせることなど、使い方によっては教育効果を減退させる。マナーやルール作りが必要で研究中である。教職員への研修も行っていく。

問 どんなメリットがあるか。

教育次 英会話の相手としての活用や、自分で作った文章を修正させ、何度も推敲してより良いものに仕上げることなどでは教育的効果が期待できる。

問 夏休み前に文科省から学校向け活用指針が出た。子どもたちに指導したか。

教育次 「夏休みの宿題における生成AIの使用について」という文書を小・中学校の保護者に配付した。チャットGPTは13歳以上で、18歳未満は保護者の同意が必要と、Bard(バード)は18歳以上であることなど使用条件も周知している。

問 市長の考えは。

市長 AIの技術は仕事の効率化や住民サービスの向上に効果的。積極的に取入れ業務改革を進める必要があると思う。



石井由紀子



地域公共交通のさらなる利便性について

問 市民がさまざまな交通手段を、どのように使われているか、意見の収集はしているのか。

企財 市営バスについては、市民の声を反映し、改良・改善を重ねてきた。現時点での運行が地域の実情に合っていると考えている。今後必要に応じ改善し、地域公共交通に大きな変化がある場合には、アンケート調査も実施する。

問 地域公共交通計画の策定はしないのか。

企財 策定のメリットとして国の補助金を受けることができているが、現状では基準等を満たしていないため補助の対象外になる。また、策定には多額の費用が生じ、毎年の検証にも経費がかかる。公共交通網を抜本的に見直す必要が生じたときには検討していく。

市長 これまでのアンケート調査の結果や要望を市営バスの運行にできる限り反映してきた。現時点では同様の公共交通を維持していく。

スマホ依存について

問 常にスマホの画面を確認、操作してないと落ち着かなくなるなどの状況をスマホ依存という。また、ゲーム障害はWHOでも病気と認定されている。子どものスマホ依存について認識と現状把握は。

教育次 把握はしていない。市内の小・中学校では、定期的にメディアコントロール週間を設定し、家庭と連携しながらメディアの使い方について見つめ直す取組を行っている。

問 大人のスマホ依存も問題視されている。認識と取組は。

健福 ギャンブルやアルコールなどの依存症と同様に社会問題と認識している。現在、市民からの相談はない。

市長 スマホによる日常生活への悪影響についてさまざまな機会を捉え、教育や周知を図るとともに関係機関と連携していく。



早苗 ネネ



食の安全について

問 福島原発の処理水に対して、奇島という漁場を持つ市の見解は。また独自に市としての水質検査を行う考えは。

産建 現在、国として環境モニタリングを実施、公表している。国際原子力機関も安全基準に合致し、影響は無視できる程度との立場を有している。科学的データに基づいた評価を見守り、本件に関して独自に調査を行う考えはない。

問 30年間の放出計画で、その間にいろいろな問題が起きる可能性がある。市としても対策をお願いしたい。

市長 処理水の放出については、政府が6年以上にわたる議論や意見交換等を踏まえ、科学的根拠に基づき決定した。市としては国や各主体が行う調査に基づいた評価を注視していく。

問 最近2社のフードテック会

社から、ゲノム編集のトマトの苗を全国の小学校に無料配布すると聞いた。市の対応は。

教育次 学校に確認したところ、配布されていない。

問 バイオテクノロジーの食品産業がSDGsの対応として動き出している。これらの実験台として子どもたちが使われる可能性を懸念するが、市の見解は。

教育次 給食は安全安心な食材確保に努めている。中学校家庭科の食品表示の学習で、今後も食について正しい知識を得られるように指導していく。

問 フードテック食品は700兆円の新産業と言われている。まずは経済優先の前に食の安全を最優先していただけないか。安全性審査や表示制度を最優先することを要望する。

産建 フードテクノロジーを活用した物の中にはゲノム編集、人口肉、昆虫食、細胞性食品などがあり、流通に先立ち食品の安全性や生物多様性の観点から問題がないか確認した上で公表する仕組みが国で構築されている。

市長 安全が一番大切であると認識している。

令和5年度 浅口市議会 議会報告会開催

令和5年
11月18日(土)

10:00~12:00

会場 ふれあい交流館
「サンパレア」
多目的室浅口市寄島町
16091-23入場無料
事前申込み
不要

◆ 基調講演

演題

地域・学校(園)・家庭における
子育て支援についてコミュニティ・スクールマイスター
やすだ たかひと

講師 安田 隆人 氏



講師略歴 1961年生まれ 前寄島小学校長
文部科学省コミュニティ・スクールマイスターとして
鴨方東小学校や寄島小学校で浅口市のコミュニティ・
スクールの土台を築かれました。
現在は、高梁市教育委員会参事としてご活躍中。

少子化・子育て支援について

少子化社会でも地域の子育て環境を整えるために議会ができること

報告会の内容

- ▶ 議会活動報告 議会に視線と興味を
- ▶ 基調講演 講師：安田隆人 先生
- ▶ ワークショップ 議員との意見交換

浅口市議会では、「浅口市議会基本条例」に
基づき、「議会報告会」を開催します。● 市政、市議会に対する
ご意見ご要望について→ご意見ご要望等は、議会内で十分審議し、
後日ホームページにて報告します。

お問い合わせ

浅口市議会事務局 ☎ 0865-44-7010
〒719-0295 浅口市鴨方町六条院中3050番地
ホームページでもご案内しております。▶
https://www.city.asakuchi.lg.jp/gyose/gikai/houkoku/houkokukai_r5.html小さなお子様がいらっしゃる場合、
無料の託児がご利用いただけます
(要予約)こちらからお申込み下さい。→

お詫びと訂正

前号の掲載記事に誤りがありました。
お詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正させていただきます。10ページ上段 誤 合格者への報奨金2万円
正 合格者への報奨金1万円

傍聴へ

お越しく下さい

12月定例会

12月5日(火)から

傍聴は、議会に触れることのできる最も身近な方法です。どうぞお気軽に
お越しく下さい。会議中、傍聴者はご自由に入退場できますので、まず議会
事務局で受付を済ませてお入りください。会議の詳細な日程は、11月下旬に議会運営委員会で決定され、
ホームページやあさくちメールでお知らせします。

今月の表紙写真

遙照山の山頂にある巖連寺は両面薬師で有名です。写真の提供者は鴨方町の林富士男
さんで、「紅葉と鐘堂を一体化させ、霊山遙照として相応しい秘境を
イメージ」されたそうです。心が癒やされる場所であり、紅葉を満喫
できるパワースポットゾーンです。ご応募ありがとうございました。

声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせ
するため、浅口はるか会の協力により議会
だよりを音読しています。

必要な方は社会福祉協議会へ

☎ 0865-44-7744

あなたの写真

表紙にのせませんか?

表紙に掲載する「あさくちイチ推し写真(風景)」を募集しています。あなたのお気に入りの風景、思い出の風景を送ってください。タイトルや場所の説明等を記載し、写真を添付して、市議会事務局へメールでご応募ください。二次元コードから簡単にメール送信できます。



☎ 0865-44-7010

